

社会教育委員の会議次第

- ◆ 開催日時：平成 28 年 10 月 17 日（月）午後 2 時
- ◆ 開催場所：保谷庁舎 3 階 会議室

1 開会の言葉

2 議 事

- (1) 平成 28 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 4 ブロック研修会について
- (2) 今後の活動について
- (3) その他

【配布資料】

資料 1 平成 28 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 4 ブロック研修会について

次回会議：11 月 21 日（月）午後 2 時
保谷庁舎 3 階 第 2 会議室

平成 28 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第 4 ブロック研修会について

1 研修

(1) 趣旨

都市社連協第4ブロック（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）の社会教育委員及び関係職員が一堂に会し、情報交換、相互の研修討議及び交流を深め、社会教育の振興を図ることを目的とする。

(2) 主催

東京都市町村社会教育委員連絡協議会

(3) 開催市

西東京市

(4) 日時

平成 28 年 10 月 22 日（土） 午後 2 時～4 時 30 分

(5) 会場

西東京市防災センター6階 講座室 2（西東京市役所保谷庁舎）

6 統一テーマ

「市民・地域とともに高めあう 学びのまち～みんなが まなぶ いかす つながる～」

7 ブロック研修会テーマ

「市民がつくる共生社会～事例を通じて考える～」

8 事例発表①「多文化共生の地域づくりを目指しての活動」（NPO法人西東京市多文化共生センター）

事例発表②「市民として災害時対応の普及・啓発・活動」（西東京レスキューバード）

2 スケジュール

時程	内容	経過時間	備考
12:30～13:30	集合 準備	60 分間	
13:30～14:00	開場 受付		
14:00～14:15	開会 あいさつ	15 分間	議長 教育部長 都市社連協副会長
14:15～14:20	発表者 紹介	3～5 分間	NPO法人西東京市 多文化共生センター
14:20～14:50	発表	30 分間	
14:50～15:05	質疑・意見交換	15 分間	
15:05～15:15	休憩	10 分間	
15:15～15:20	発表者 紹介	3～5 分間	西東京レスキューバード
15:20～15:50	発表	30 分間	
15:50～16:05	質疑・意見交換	15 分間	
16:10～16:25	発表のまとめ	15 分間	
16:25～16:30	閉会 解散	5 分間	

3 役割分担

役割	人数	内容	案
案内	1名	防災センター1階入り口付近に立ち、エレベーター階を説明・案内	
受付	2名	会場前で出席者名簿により受付	
発表者接待	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者・挨拶者を控室（講座室1）に案内 ・対応は、議長、社会教育課長 ・会場に案内（午後1時55分） (発表者) 西東京市多文化共生センター 西東京レスキューバード (挨拶者) 都市社連協副会長（立川市会長） 西東京市教育部長	
司会	1名	開会の辞 研修会の進行 発表者紹介（西東京市多文化共生センター） 閉会の辞	
開会 あいさつ	1名		
発表者 紹介	2名	西東京市多文化共生センター 西東京レスキューバード	
発表 まとめ	1名	各市議長が当日感想を述べたあとに、最後にまとめる。	
記録	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・当日研修会の要点筆記をする。 ・テープ起こし原稿を基に記録集用原稿を整える（テープ起こしは業者に依頼） ・発表内容を含む 	
記録写真	1名	研修会の記録写真を撮る。	
PC担当	1名		
質疑マイク	2名	質疑応答の際、マイクを渡す。	


※マイク3本：演台、司会、フローア用

※縁台の移動・プロジェクターの移動：事務局

平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会

市民がつくる共生社会 ～事例を通して考える～

事例発表①
「多文化共生の地域づくりを目指しての活動」



NPO法人 西東京市多文化共生センター
代表理事 山辺 真理子

今日の流れ

1. NPO法人西東京市多文化共生センター
(NIMIC)の事業全般
2. 事例にみる連携と循環
 - ①通常活動:子ども日本語教室
 - ②イベント:スピーチコンテスト
3. 今後に向けて

NIMICの設立経緯

2004年～2005年
西東京市国際交流組織設立検討懇談会が提言書
「多文化共生社会にむけて」を提出(2005.10)

2006年3月
西東京市多文化共生・国際交流センター設立

2008年10月
特定非営利活動法人
西東京市多文化共生センター認可

活動理念

異なる文化的背景を持つ人々が、宗教や信条、生活習慣の違いを互いに理解し合い、偏見や差別意識を持つことなく、共に地域で暮らす「多文化共生社会」を築くことで、世界平和に寄与することを目指して活動します。

外国人にとって住みやすい社会は、みんなにとって住みやすい社会

事業の三つの柱

- 地域に在住する外国人支援事業
- 多文化理解の促進(交流・啓発)
- 多文化共生に向けて活動の活性化やネットワークづくり

NIMICの活動(基本構成)

外国人支援/多文化理解/活動活性化

市の委託・補助事業	自主事業
<ul style="list-style-type: none"> ●西東京市多文化共生センター運営業務(多言語相談)『相談窓口』 ●多言語ボランティア派遣 ●多言語版市報『くらしの情報』 ●日本語ボランティアフォーラム講座 ●多言語翻訳 ●企画提案事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域に在住する外国人支援事業 ●多文化理解の促進・交流事業 ●多文化共生に向けて活動の活性化やネットワークづくり


NIMIC会員数=175(16年9月末現在)家族8、団体8を含む

市の委託事業 多文化共生センター

◆相談窓口の運営

●2015年度月曜～金曜
多文化共生センター(市の施設・イングリル1F)にて外国人などの日常生活相談
年間外国人相談件数=18か国、86件、114人
日本人相談、活動拠点としてセンター利用あり

◆窓口通訳ボランティアの対応
英語、中国語、韓国語、スペイン語



2009年4月開設

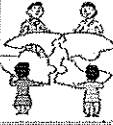
委託事業 多言語サポート

◆多言語サポート(多言語部会)

2016年9月
=138号
(2005年3月31日)
言語権の保護
入国上の配慮
多文化共生の視点
2008年～市の委託
事業

●市報抜粋多言語版「くらしの情報」
年間作成数=12回
やさしい日本語ルビ付
英語、中国語、韓国語
(通訳ボランティア16人、リライト印刷
ボランティア 9人)

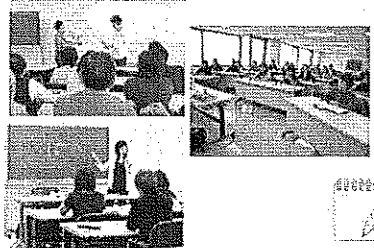
●市の機関や学校等へ通訳ボランティア
派遣
年間派遣件数= 19件(2015年度実績)



委託事業 活動の活性化ネットワークづくり

◆日本語ボランティアフォローアップ講座


●「日本語ボランティアフォローアップ講座」
7月～12月 計7回実施、延117名受講



市の補助金事業

◆企画提案事業(2014～2016年度)

- ◆多文化共生を周知するため、DVD製作とリーフレット等のツール開発整備(2014)
- ◆「多文化トークと落語の会」開催(2015)
- ◆パネル展示と多文化ステージ
- ◆外国人市民等実態調査





主体事業 地域に在住する外国人支援

◆子ども日本語教室

●外国にルーツを持つ小中学生の
日本語学習サポート教室(毎週開講)

- 小学部(3教室) 26人
- 中学部(1教室) 12人
(2016年3月末在籍者数)


- 夏休み特別教室開催
- 春休み特別教室開催

主体事業 多文化理解の促進

◆留学生ホームビジット

●参加留学生34人(12か国)、受け入れ17家庭
(第10回:16年6月19日実施)
ボランティアスタッフ 12人


●訪問家庭で



主体事業 多文化理解の促進

◆西東京市日本語スピーチコンテスト

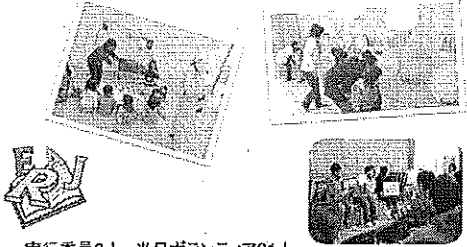
- 西東京市誕生10周年記念事業として開始
11年度＝11か国22人の出場者、専門家審査員
- 15年度＝6か国10人の出場者、市民審査員



主体事業 多文化理解の促進

◆子ども対象「英語で楽しく」

- 2015年度は66人が参加し、3月12日に第9回を開催！！




実行委員3人、当日ボランティア21人

主体事業 多文化理解の促進

◆多文化体験 with Kids

- 「世界の子どもたちのクリスマス」(15年12月13日)

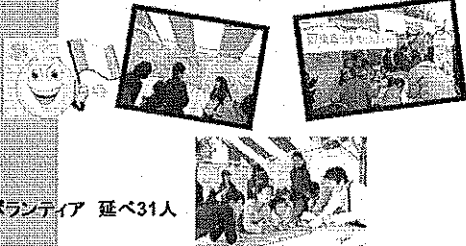
参加者18人(親子10組)
実行委員4人、当日ボランティア2人



主体事業 多文化理解の促進

◆「市民まつり」に参加

- 2015年は400人の来場者が訪問



ボランティア 延べ31人

協力事業 活動の活性化やネットワークづくり

◆日本語ボランティア入門講座


- 市主催講座への協力

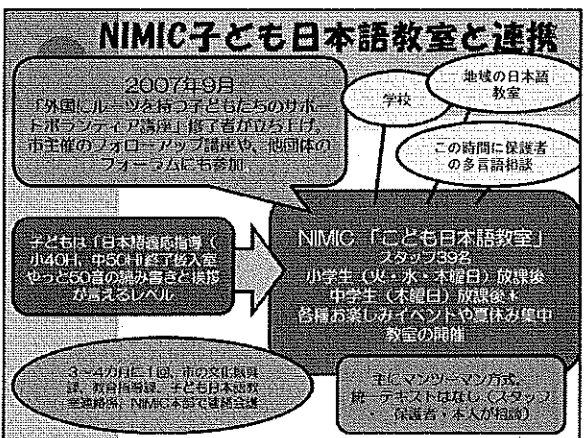
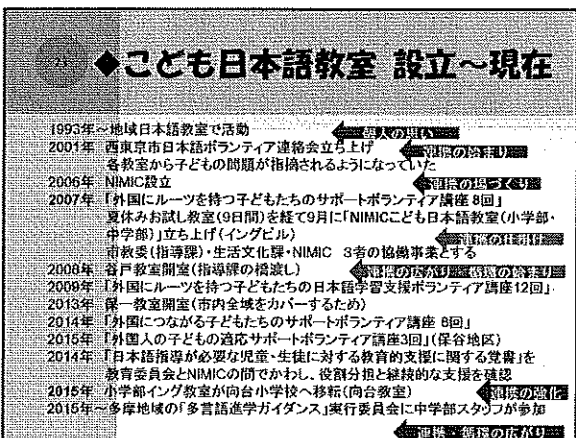
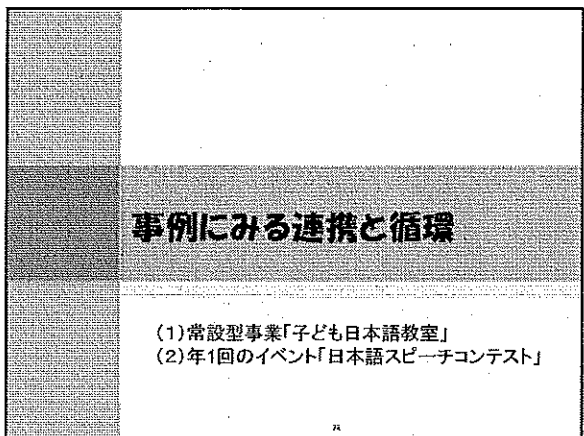
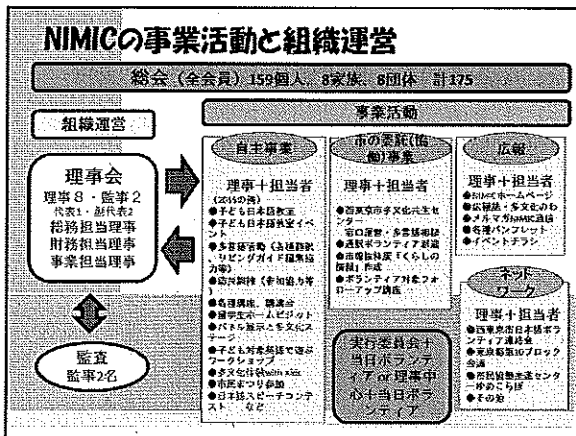
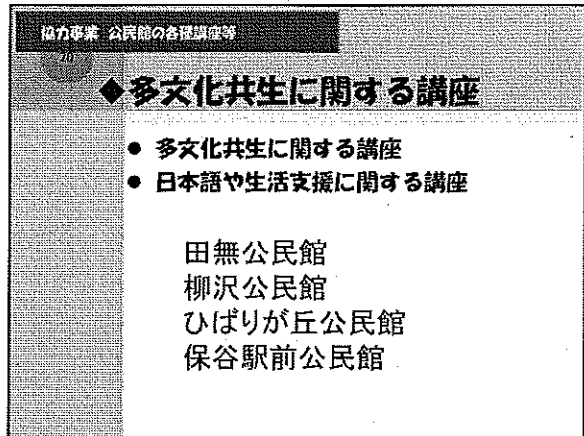


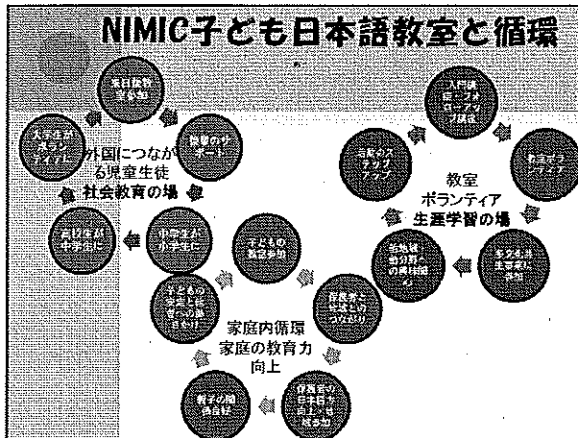
協力事業 小中学校での多文化共生周知活動

◆出前授業・教室訪問

小学校の例





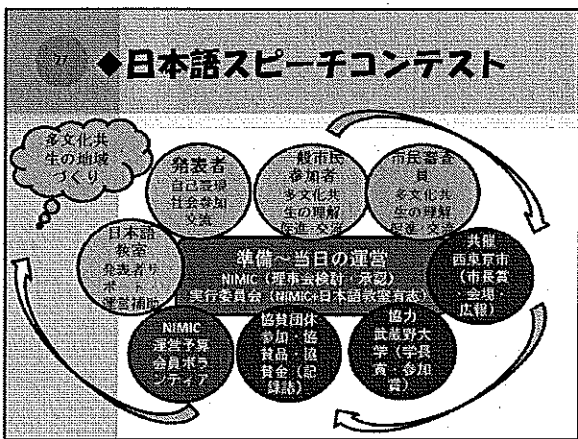


◆日本語スピーチコンテスト

2011年 第1回 市誕生10周年記念事業(市が積極的、1回のみ)の事業
継続を望む声に応え...

2012年 市内の日本語教室とNIMICで実行委員会を結成
2013年 複数の市民審査員を公募、誰でも参加できる交流パーティー
2014年 協賛団体募集→多様な人々の関心・記録誌の充実
2015年 (NIMIC誕生10周年記念事業)
10年の活動を振り返るスライド上映(10分)
2016年 10月2日 第6回 スピーチコンテスト

実行委員8~14人、当日ボランティア10~15人
1回目から参加している人+毎回新しいボランティアを加えながら運営



今後に向けて

外国人市民実態調査・日本人市民意識調査より
2016年6月1日~6月30日実施
アンケート回収・有効数
外国人市民124・日本人市民102
NIMIC会員(外国人会員を除く)66
2017年2月報告書完成予定
(西東京市NPO等企画提案事業)

◆外国人市民等実態調査から

滞在年数と日本人との付き合い

滞在年数	日本人との付き合い
1年未満	10%
1年以上	90%
2年未満	15%
2年以上	85%
3年未満	20%
3年以上	80%
4年未満	25%
4年以上	75%
5年未満	30%
5年以上	70%
6年未満	35%
6年以上	65%
7年未満	40%
7年以上	60%
8年未満	45%
8年以上	55%
9年未満	50%
9年以上	50%
10年以上	50%

- 外国人と日本人の交流の場をもっと増やして理解を深めたい。
- みんな集まるときは国境の違いを無くして、西東京市民として。
- 一緒に働きたい、友達になりたい、日本のルールを教えてください。

◆日本人市民意識調査から

多文化共生のためにしたいこと

- ローカルルール、文化の違いを理解するための場が欲しい。
- 西東京市が外国人に偏見がない国になるよう、私もやりたい。
- 多文化共生講座で、外国人も日本人も本当はもっと歩み寄りたいと思っている人が沢山いると知りました。


31

◆ 今後に向けて キーワード


- 人々が移動する時代において「多文化共生」という考え方の重要性
- 3つの壁①制度の壁
②言葉の壁
③心の壁 } NIMICの得意分野
- 持続可能な活動
- 市民ボランティア活動は生涯学習の場
- 気軽に活動できる場づくりの重要性
- 多様な社会教育との連携

32


◎ ご清聴ありがとうございました！




平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
(第4ブロック研修会) 発表資料
事例発表②「市民として災害時対応の普及・啓発・活動」
西東京レスキューバードの設立とその背景
～学ぶ・生かす・つながるへの事例として




西東京レスキューバード
Nishitokyo Rescue Birds
西東京市の防災を一緒に考えませんか？

 **お話しすること<目次>**

- 1.西東京レスキューバードとは？
- 2.設立の背景となった講習会
- 3.講習会から設立までの期間
- 4.この2年間の活動実績
- 5.余談：代表・荘の社会教育活動歴
- 6.西東京レスキューバードのこれから



2


 **1.西東京レスキューバードとは？-1**

私たちの活動目的：


- 1.災害発生時の被災者支援活動
災害ボランティアセンター支援など、
災害発生時の市内での活動
- 2.平時の防災活動・地域協力活動
防災活動(災害の想定と準備を含む)、
地域とのつながりを作る活動

会員数：現在35名(男性16名、女性19名)
活動日：定例会(第二土曜日)ほか

3


 **1.西東京レスキューバードとは？-2**

- ▶西東京市社会福祉協議会「災害ボランティア養成講習会」修了生で2015年4月に結成しました。
- ▶平成28年度西東京市社会教育関係団体補助金や平成27,28年度社会福祉協議会の地域福祉活動助成金の支援を頂いています。
- ▶本会の趣旨に賛同する市内在住、在勤、在勤の方ならどなたでも参加できます。



2015/12 防災まち歩きにて


4

 **2.設立の背景となった講習会-1**


西東京市社会福祉協議会
「災害ボランティア養成講習会」2014/9/13～10/25
講習会参加者20名

第1日 被災した時、自分を守る・人を助けるとは 講習会にて
～ビースト災害ボランティアセンター

第2日 HUG(避難所運営ゲーム)
～ゆめこらぼ、田無スマイル大学
西東京市災害対策基本政策
～西東京市危機管理室
障害者サポーターとヘルプカード
～西東京市福祉部障害福祉課




5

 **2.設立の背景となった講習会-2**

第3日 避難行動要支援者の課題を考える 講習会最終日の集合写真
～どろんご作業所 鶴城氏 (実は最終回は都合で欠席したので私と妻は写っていません)
地域の動きについて(対談)
～民生委員/東京災害ボランティアネットワーク

第4日 平常時における災害ボランティアの活動を考える
～東京ボランティア・市民活動センター




6

3.講習会から設立までの期間-1

自主団体化までの試行錯誤の期間 2014/11~2015/3
 (月一回「交流会」という名称で勉強会を継続した。)

- ・講習会で「自主団体化」を募集当初から示唆されていた。
- ・実施案内郵送や場所予約なども社協がフォローしてくれた。



交流会の案内を社協が毎回メンバー全員に郵送してくれました。

3.講習会から設立までの期間-2

講習会
2014/9~10
『学ぶ』

交流会
2014/11~15/3
胎動の期間

自主団体化
2015/4~
『生かす』へ

フェーズチェンジの難しさ:

- ・『学ぶ』から『生かす』への意識の切り替え
- ・自主団体化のハードル

4.二年間の活動実績-1

<定例会の開始> 2015/4~ 毎月第二土曜 13:30~
 会の運営、方針、会計関係の議事
 HUGや防災まち歩き計画、防災訓練での訓練検討など

<HUG支援> (ゆめこらぼ共同) 2015/4~
 キルトネットの会、上向台サルビア、柳沢公民館、
 ふれまち保谷一小校区、保谷二小避難所運営協議会ほか
 (2015年度で9回、2016年度全11回予定)








HUGの様子 カード→

4.二年間の活動実績-2

<災害ボランティア養成講習会実施支援> 2015/8~9
 2015第二期の募集・企画・実施を支援。

<2015年度 市の総合防災訓練参加> 2015/9
 災害ボランティアセンター設置訓練に参加
 ・災害ボランティアセンターを東伏見小に設置。

講習会第二期の様子 総合防災訓練にて

4.二年間の活動実績-3

<防災訓練参加など>
 田無特別支援学校2016/1、谷戸公民館地域防災講座など

<防災まち歩き>
 泉町地区でテスト実施 2015/12
 住吉小・旧泉小エリア 2016/6
 保谷駅前公民館共催(下保谷、東町エリア) 2016/9

<機関誌の発行> 2016/3





防災まち歩きでの防災マップ作り 機関誌第一号

4.二年間の活動実績-4

自主団体化
2015/4~
『生かす』

他団体との交流
2015/4~
『つながる』

活動の安定継続
2016/4~
続ける


フェーズ:

『生かす』 学んだことを市民に広げる NPOフェスタ、機関誌
 『つながる』 HUG支援(ゆめこらぼ・スマイル大学に感謝)
 防災まち歩き(社協・ふれまち・公民館に感謝)
 市民向け広報誌(総合防災訓練などで配布予定)
 『続ける』 安定継続のための財源やNPO化などが課題


5.余談のページ-1 (代表・荘の社会教育活動歴)

地元の社会教育活動にいろいろと関係してきました。


18才～ 旧田無市夏季水泳指導員 (社会教育課) 大学1年～
 23才～ 旧田無公民館青年教室 大学4年～
 (キャンプ・料理・男女・入形劇・影絵劇など)
 子ども会 (障がいのある子もない子も一緒に遊ぶ)



青年教室の様子



子ども会での寸劇



影絵公演にて (夏の体験ボラ受け入れ)

13

5.余談のページ-2 (代表・荘の社会教育活動歴)

24才～<就職> 手話サークル (最終的には代表に)
 34才～<大阪転勤・結婚>手話サークル、鼈和太鼓サークル
 40才～<東京復帰> ～子育てに専念～
 52才～ 災害ボランティア養成講習会に参加
 西東京レスキューバード設立



手話で挨拶



ろつ和太鼓山口県公演



第一期講習会でのHUG

14


6.西東京レスキューバードのこれから

本年度は次の事業を計画しています。

- 「防災まち歩き」(社協平成28年度助成金対象)
- 「総合防災訓練での災害ボランティアセンター設立訓練」
- 「市民向け防災情報」の広報 (社会教育課補助金対象)
- 「防災教室」実施支援ほか

そのほか、避難所運営協議会との連携など様々な活動を予定しています。

出来ることから一歩ずつ、活動していきます！



2015年度総合防災訓練にて市長と

『学ぶ・生かす・つながる』そして『続ける』ことを大切に

15

連絡先



世話役: 代表: 荘(しよ) 副代表・渉外: 田邊
 連絡係: 立元 書記・会計: 新堀
 運営準備: 有田 庶務: 小西

連絡先: 立元(たちもと) touchimoto2@gmail.com
 郵便先: 〒188-0012 西東京市南町5-6-18
 イングビル1階 ゆめこらぼ メールボックス利用団体

2016/9の防災まち歩き

フェイスブックページOPENしました。
<https://m.facebook.com/nishitokyo.rescuebirds/>

Ver1.0.201609

16